

平成29年3月24日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 野澤 克巳
 (コード番号 7523)
 問合せ先 取締役経営企画室長 樋口 弘司
 (TEL 03-5783-7171)

貸倒引当金の計上及び繰延税金資産の取り崩し 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期の第4四半期連結会計期間におきまして、下記のとおり、貸倒引当金の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行う予定であります。

それに伴い、平成28年11月10日に公表いたしました平成29年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、この業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。なお、期末配当の正式決定は、期末決算に関する取締役会で行う予定です。

記

1. 貸倒引当金の計上について

当社連結子会社である株式会社ダブルラックは株式会社グロワール・ブリエ東京（本店：東京都港区、代表者：代表取締役下田友洋）との間で「加盟店契約書」に基づき個別信用購入あっせん事業（クレジット事業）を行ってまいりました。同社は平成28年8月24日付で消費者庁より9か月間の一部業務（新規契約締結等）の業務停止命令を受け、その後、他社からスポンサー支援を受けている状況であります。

平成28年11月4日付「貸倒引当金の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、144百万円の貸倒引当金の販売費及び一般管理費への計上してまいりましたが、顧客のクレジット契約のキャンセルが当初の想定以上に発生し追加損失の可能性が高くなってまいりました。このような状況から、保守的に同債権及び今後発生する立替金の返還金等の見込み額について、320百万円程度の貸倒引当金を特別損失へ追加計上する可能性がございます。計上金額につきましては、引き続き精査し、検討してまいります。

なお、本件につきましては、引き続き、債権の回収に全力を尽くしてまいります。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社及び当社連結子会社である株式会社ダブルラックにおきまして、版画販売事業、高額美術品の売買事業及び美術品担保融資事業を行っており、当該版画作品及び高額美術品（以下、美術品等という）を販売用のたな卸資産として保有してまいります。決算期ごとに美術品の市場価格等を考慮し美術品等を評価しており、保守的に評価損を計上してまいりました。当初は10年程度保有し、売却または除却を行うことを予定し、評価損による一時差異を繰延税金資産として計上してまいりましたが、今後、当該美術品等を更に長期間保有する方針に変更し、繰延税金資産800百万円程度を取り崩すことにいたしました。

本件は次期以降の決算に影響を及ぼすものではございません。

3. 業績予想の修正について

(1) 平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,500	750	600	330	25.23
今回修正予想 (B)	6,500	950	900	△600	△45.88
増減額 (B-A)	0	200	300	△930	—
増減率 (%)	0.0	26.7	50.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	5,929	712	701	532	40.69

(2) 修正の理由

当第4四半期連結会計期間におきまして、上記1.の貸倒引当金144百万円を販売及び一般管理費から特別損失へ振替えたことにより営業利益、経常利益は増加し、上記1.の貸倒引当金の追加計上320百万円程度を特別損失に計上すること及び上記2.繰延税金資産800百万円程度を取り崩すことにより、法人税等調整額が同額増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大幅に下回る見込みであります。

4. 配当予想の修正について

この業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。なお、期末配当の正式決定は、期末決算に関する取締役会で行う予定です。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上